



まちの話題



来場者でにぎわう駅前広場の「かもん桜マーケット」



仮装を楽しむ子どもたちもいてにぎわったお花見マーケット



駅前のにぎわい創出

かもん金ケ崎桜まつり開催

町観光協会主催の「かもん桜マーケット」と「駅前クラフト横丁三丁目」がこのほど、JR金ケ崎駅前イベント広場等で開かれました。「かもん金ケ崎桜まつり」の一環で行われた同イベント。飲食店のテイクアウトやクラフト市が開かれ、訪れた来場者を楽しませました。初日の4月23日はオープニングセレモニーが行われ、南部千代連が祝舞などを披露しました。濱田結梨ちゃん（6歳）は「いっぱいお店を見れて楽しかった」と充実した表情を見せました。

農 二日町 sakuraichi 開催 大桜並木にぎわう

二日町地域の活性化に取り組む任意団体「二日町にぎやか衆」（村井幹啓代表）は4月23日、県立農業大学校桜並木周辺で「二日町 sakuraichi お花見マーケット」を開きました。同会場には、飲食のテイクアウトやフリーマーケットなど10店舗が並び、県立農大の学生や地元民ら約200人が訪れました。また、地域おこし協力隊の及川俊哉隊員が空き家を活用して整備を進める活動拠点「LifeBASE」の内覧も行われました。

1 ウクライナ人道危機救援金を寄託 日も早い平和を願って

町赤十字奉仕団（氏家富士子委員長）は4月28日、ウクライナ人道危機救援金として町内商業施設で募った救援金75,328円を、日本赤十字社岩手県支部金ケ崎町分区分区（高橋寛寿分区分長）に寄託しました。町の募金箱を含めた計93,470円の救援金は後日、日本赤十字社に送金されました。



高橋町長（右）に救援金を寄託する町赤十字奉仕団の皆さん



ビッグハウス金ケ崎店（写真上）、イオンスーパーセンター金ケ崎店（写真下）で募金活動を行う町赤十字奉仕団

農 岩手ふるさと農業協同組合が要請書提出 業者を守る支援の早期実現へ

岩手ふるさと農業協同組合（後藤元夫経営管理委員会会長）は5月12日、国の水田活用の直接支払交付金の制度改正に対する農業者支援や代替政策への協力に関する要請書を高橋寛寿町長へ手渡しました。高橋町長は「農協など関係団体と力を合わせ、農業者の力になりたい」と力を込めました。



高橋町長（右）に要請書を手渡す後藤会長（左）

森山工業団地内を清掃する参加者たち



住 金ケ崎町クリーン作戦実施 みよいまち目指し清掃活動

町クリーン作戦は4月18日、町内の河川敷や主要幹線道路、工業団地周辺などで行われました。そのほか、町内全域で4月中に同活動が行われ、計848人が住みよいまちを目指して清掃に取り組みました。可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ合わせて計4,412kgのごみが回収されました。